

取扱説明書 (国内販売用)

■ 接着剤用スプレーガン

COG1-H□□

この取扱説明書に示された警告事項および注意事項は必ず守ってください。
 使用時に不用意な接着剤の噴出や、有機溶剤の吸引により重大な身体上の障害を起すことがあります。
 ▲ 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので必ずお守りください。

警告	警告内容を怠った場合、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。
注意	注意内容を怠った場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生する可能性が想定されることを示します。
重要	この記号は、機械の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくために守っていただきたい内容を示しています。尚、本取扱説明書で示す安全事項は、必要最低限のものであります。国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則又、それぞれの企業や事業所で規則、規定として守るべき事項に従ってください。

重要

この取扱説明書は、安全にご使用いただくために重要な警告、注意事項および取扱い方法について記載しています。
 この取扱説明書で扱われている機器は、接着剤吹付け業務用途の商品です。
 他の用途には使用しないでください。
 正しい取扱指導を受けられ、機械の操作方法を理解された方以外の人は、使用しないでください。
 ご使用前に、必ずお読みになり、十分理解してからご使用ください。
 本書はすぐに確認できる場所に大切に保管してください。

重要仕様

最高使用圧力	0.70MPa
騒音値	79dB(A)
条 吹付条件	推奨使用条件
件 測定位置	スプレーガンより後方へ1m 地面より高さ1.6m
使用温度範囲	雰囲気温度5°C~40°C 流体温度5°C~43°C(液体、気体)

ノズル・ニードル ASSY の組合せ

口径Φmm	表示	
	塗料ノズル	ニードル弁 ASSY 表示
Φ0.8	COG1 / 08	08 WIDER1
Φ1.0	COG1 / 12	13 WIDER1
Φ1.8	COG1 / 18	COG1 H18

主要仕様

形 式	接着剤供給方式	ノズル口径Φmm	適用空気キャップ	推奨使用条件		空気使用量 l/min	※2 パターン開き mm	接続口径	質量 g
				吹付空気圧力 ※1 MPa	接着剤噴出量※2 ml/min				
COG1-H08	圧送式	0.8	COG1	0.29	70	380	150	G1/4 (空気) G3/8 (塗料)	310
COG1-H12		90			170				
COG1-H18		110			190				

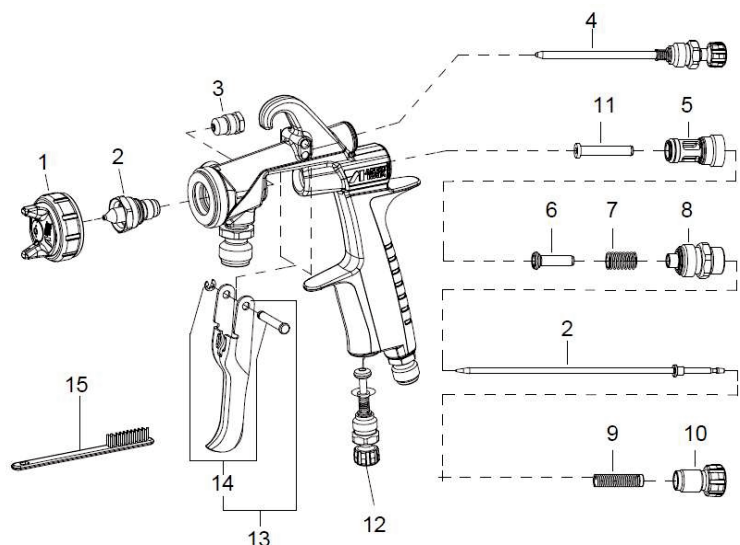
※1 吹付空気圧力は引金を引き空気を流した時のスプレーガン入口圧力です。
 ※2 本推薦条件は、クロロブレンゴム系溶剤形接着剤(粘度:200mPa・s 程度)を使用した場合となります。

■ 部品名称

No.	品 名	数量
1	空気キャップ ASSY	1
2	ノズルニードル ASSY ・ノズル ・ニードル弁 ASSY	1
3	ニードル弁パッキンセット	1
4	パターン調節装置	1
5	空気弁シート ASSY	1
6	空気弁	1
7	空気弁ばね	1
8	塗料調節ガイド ASSY	1
9	ニードル弁ばね ASSY	1
10	塗料調節つまみ	1
11	空気弁棒	1
12	空気量調節装置	1
13	引金 ASSY	1
14	引金止め軸 ASSY	1
15	掃除用ブラシ	1

◆の部品は消耗品です。

付属品



- ◎ 部品御注文の際は、スプレーガン形式、空気キャップ ASSY、ノズル、ニードル弁 ASSY の刻印、及び上記No. 品名を御指定ください。
- ◎ ノズル、ニードル弁 ASSY は個別での販売はいたしません。各部品を交換する場合は、個別に交換せずノズルニードル ASSY の組み合わせで交換してください。
- ◎ 開封時、破損や欠品がないことを確認してください。
- ◎ 欠品、輸送上の損傷がある場合は危険防止のため使用せず、お買い求めになった販売店又は当社支店・営業所・サービス会社までご連絡ください。

■安全にご使用いただくための警告事項

⚠警告

火災と爆発

- 吹き付け作業場は、火気厳禁です。
 - ・接着剤は引火性があり火災の危険性があります。
 - ・たばこ、点火、電気機器等、引火の恐れがあるものは必ず離れた所でご使用ください。
- 次のハロゲン化炭化水素系溶剤は使用しないでください。

化学反応により、本体(アルミニウム部分)にクラック、溶解が発生します。

 - ・不適合溶剤: 塩化メチル、塩化エチル、二塩化メチレン、二塩化エチレン、四塩化炭素、トリクロロエチレン、1,1,1トリクロロエタン 等

(特殊な接着剤やシンナーは充分適合性を検討した上でご使用ください。適合性検討のための材質リストを提出する用意があります。)
- スプレーガンにはアース線入りホースを使用する等、確実にアースを接続してください。アースが不十分ですと、静電気のスパークによる火災、爆発の危険性があります。



機器誤用

- 絶対に人や動物に向けてスプレーしないでください。目や皮膚の炎症、人体への危険があります。
- 最高使用圧力以上でのご使用は絶対に避けてください。
- 洗浄、分解、保守作業をする前及び作業中断時には必ず接着剤と空気の圧力を逃がしてください。圧力が残っていると、誤動作、洗浄液の飛散により人体に危険があります。圧力を逃がす方法は、スプレーガンへの圧縮空気、接着剤、シンナー等の供給を停止し、引金を軽く引くことにより行います。
- メンテナンスの際、ニードル弁 ASSY およびノズルの先端には触らないでください。ニードル弁 ASSY、ノズルの先端は鋭く尖っており、怪我をする恐れがあります。



人体保護

- 吹き付け作業は、塗装ブース等を使用し、換気の良いところで使用してください。換気が不十分ですと有機溶剤中毒や引火の危険が増えます。
- 常に適切な服装または保護具を着用してください。(眼鏡、マスク、手袋)

目や皮膚に洗浄液等がつき炎症を起こします。

目や皮膚に異常を感じたら直ちに医師の治療をうけてください。
- 健康安全上耳栓の着用をお奨めします。

使用条件、作業環境により、騒音値が80dB(A)以上になる場合があります。
- 吹き付け作業中に疲れを感じた際は適時休憩をとってください。長時間の使用にて何度も引金を引くことで腱鞘炎になる恐れがあります。



その他

- 製品の改造はしないでください。十分な性能が発揮できないばかりか、故障の原因となります。
- 他の装置(ロボット、レシプロ、等)の作動範囲内で作業をする場合は、装置の停止を確認してから行ってください。ロボットやレシプロとの接触でけがをすることがあります。
- 食品用や化学薬品用には使用しないでください。

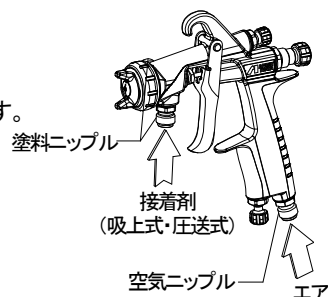
液剤通路内部の腐食による事故発生や異物混入による健康障害の可能性があります。
- 異常を発見したら直ちに使用を停止して原因を調査してください。異常が解決されるまでは再使用しないでください。

■接続方法

⚠注意

- ・エアードライヤやエアフィルターを通したきれいな圧縮空気を使用してください。塗布作業に使用する空気が汚れていると、塗布不良を起こします。
- ・購入後初めてご使用の場合は、液剤通路内部の防錆油を取り除くため、シンナーを吹いて内部の洗浄を行ってください。防錆油が残っていると、はじき等塗布不良の原因となります。
- ・ホース、液剤容器は、スプレーガンにしっかりと固定してください。ホースのはずれ、容器の落下により、人体に傷害を及ぼす可能性があります。

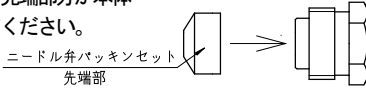
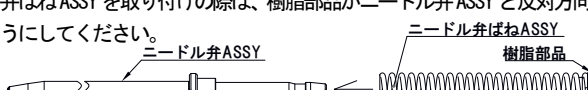
- 作業 1 エアホースは空気ニップル、液剤ホース又は液剤容器は塗料ニップルに接続します。
- 作業 2 吹付空気をスプレーガンへ供給します。
- 作業 3 液剤容器にシンナーを入れ吹付けを行いスプレーガン等の液剤通路をシンナー洗浄します。
- 作業 4 液剤容器に接着剤を入れ、接着剤の試し吹きを行い空気量、接着剤噴出量、パターン幅を調節します。



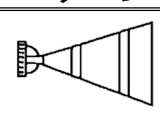
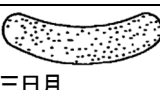
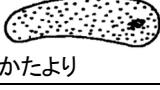
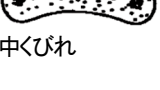

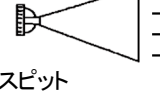
■ 保守・点検

警告

- ・安全にご使用いただくための警告事項の機器誤用の項目に従い、圧力を完全に逃がしてから作業してください。
- ・十分理解され、熟達された方が行ってください。
- ・腐食を防ぐために PH 値は 6~8 の洗浄液をご使用ください。

保守時の作業手順	重要
1. 残った接着剤を他の容器に移した後、液剤通路及び空気キャップ ASSY の洗浄を行います。液剤通路の洗浄は少量のシンナーを吹き付けて行います。	1. 洗浄不良はパターン形状や粒子の不具合の原因となります。特に二液接着剤をご使用後は素早く入念に洗浄してください。
2. 各部の洗浄はシンナーで浸したブラシで行い、ウエス等でふき取ります。	2. スプレーガン全体及び空気キャップ ASSY をシンナー等の液中に浸さないでください。長時間浸漬した場合、構成部品の損傷の原因となります。尚、洗浄時には空気キャップ ASSY、ノズル先端、ノズル各噴出穴及びニードル弁 ASSY は絶対にキズを付けないでください。
3. 分解する前には液剤通路内部を十分洗浄します。 ノズル分解時工具はメガネレンチ、ボックスレンチ又は別売りの専用スパナ (コード No.93538601) を使用してください。	3. ノズルの着脱する時は、シート部保護のため引金を引き、ニードル弁 ASSY を引いた状態で行ってください。
4. ニードル弁パッキンセットを調節する時は、ニードル弁 ASSY を挿入したままで一旦、手で締め込みます。手で締まった所からスパナで再度締め込みます。スパナで締める目安は、手で締まった所から 1/6 回転程度です。 ニードル弁パッキンセット交換時、先端部分が本体に残る場合がありますので確認してください。 	4. ニードル弁パッキンセットは締め過ぎるとニードル弁 ASSY の動きが悪くなり接着剤の先端漏れの原因となります。固く締め過ぎないように、引金を引きながら、ニードル弁 ASSY の動きを確認しつつ、調節してください。 万が一、締め過ぎてしまった時は、ニードル弁パッキンセットを完全に緩めてから、もう一度締め直してください。
5. パタン調節装置及び空気量調節装置の着脱の時は各々の調節装置を全開にしてから本体セットにねじ込みます。	5. 全開でないと、パタン調節装置及び空気量調節装置の先端が本体セット先にぶつかり、損傷の原因となります。
6. ニードル弁ね ASSY を取り付けの際は、樹脂部品がニードル弁 ASSY と反対方向になるようにしてください。 	6. 逆向きに取り付けると引金荷重が重くなる等、正常に作動しない原因となります。

点検箇所	部品交換基準
1. 空気キャップ ASSY 及びノズル各穴の通路	つぶれ、変形がある場合は交換
2. パッキン、Oリング類	変形、摩耗の場合は交換
3. ノズル、ニードル弁 ASSY 間のシート漏れ	ノズル、ニードル弁 ASSY の洗浄を十分行っても、漏れがある場合は交換。

パターン	原因	対策
 息切れ	1) ノズルと本体のテーパシート間より空気が混入。 2) ニードル弁パッキンセットからのエア吸込み。 3) 液剤容器取り付けナット又は液剤ホース継手部よりの空気の混入。	1) ノズルを外し、シート部を清掃した上で再度取付けてください。尚、シート部にキズがある場合はノズルを交換してください。 2) ニードル弁パッキンセットの締め増しを行ってください。 3) 継手部の締め付けを確かめ完全にしてください。
 三日月	1) 角孔[キャップ先端の角部分(突起部)にあいている孔]に接着剤等の固形物が詰まり両角孔からの空気の強さが異なる。	1) 角孔の固形物を除去してください。この際、付属の掃除用ブラシを使用し、金属類のものは使用しないでください。
 かたより	1) ノズル先端の外周及び空気キャップ ASSY 中心に固形物が付着している。又はキズがある。 2) ノズル取付けが悪い。	1) ゴミ・固形物が付着している場合は、除去してください。又、キズがある場合は、その部品を交換してください。 2) ノズルを外し、シート部を清掃した上で再度取付けてください。
 中くびれ	1) 接着剤の液温が低い(冬場は特に注意が必要)。 2) 接着剤が酸化(増粘)している。 3) 接着剤噴出量が多すぎる。 4) パタン空気圧力が高い	1) 接着剤の液温が 20℃以上~30℃未満になるようにしてください。 2) 接着剤を新しいものに切り替えてください。 3) 塗料調節つまみを右に回し噴出量を少なくしてください。 4) パタン調節装置を右に回しパターンを縮めてください。
 中高	1) 接着剤の液温が低い(冬場は特に注意が必要)。 2) 接着剤が酸化(増粘)している。 3) 接着剤噴出量が少なすぎる。	1) 接着剤の液温が 20℃以上~25℃未満になるようにしてください。 2) 接着剤を新しいものに切り替えてください。 3) 塗料調節つまみを左に回し噴出量を多くしてください。
 スピット	1) ノズル先端および空気キャップ中心孔・角孔周りの接着剤付着。 2) ノズル・ニードル ASSY のシート不良。 3) 一段吹き(空気のみ噴出)代の減少。 4) 空気キャップ ASSY 内部の接着剤汚れ	1) 定期的ノズルおよび空気キャップの洗浄を行ってください。 2) ノズルニードル ASSY の洗浄又は交換をしてください。 3) ノズルニードル ASSY の交換をしてください。 4) 空気キャップ ASSY の洗浄をしてください。

状況	発生箇所	チェック箇所	原因	締め増し	調整	洗浄	部品交換
接着剤漏れ	スプレーガン先端部	ノズル ~ ニードル弁 ASSY	シート面のゴミ・キズ・摩耗 塗料調節つまみの緩めすぎ ニードル弁ねのヘタリ	○	○	○	○
		ノズル ~ 本体セット	締め付け不良 シート面のゴミ・キズ	○		○	○

状況	発生箇所	チェック箇所	原因	締め増し	調整	洗浄	部品交換
接着剤漏れ	スプレーガン 先端部	ニードル弁パッキンセット	ニードル弁パッキンセットの締め付けすぎ		○		○
			ニードル弁 ASSY 戻り不良		○	○	
接着剤漏れ	ニードル弁 パッキン部	ニードル弁パッキンセット～ニードル弁 ASSY	摩耗	○			○
		ニードル弁パッキンセット	締め付け不良	○			
接着剤出ず	スプレーガン 先端部	塗料調節つまみ	開度不足		○		
		ノズル	孔の詰まり・ゴミ・固着			○	
		ニードル弁パッキンセット～ニードル弁 ASSY	接着剤固着			○	○
			ニードル弁パッキンセットの締め付けすぎ			○	
空気弁漏れ (空気キャップ ASSY 先端から のエア漏れ)	空気弁および 空気弁シート ASSY 部	空気弁	シート面のゴミ・キズ			○	○
		空気弁シート ASSY	シート面のゴミ・キズ			○	○
			空気弁ばねのヘタリ				○

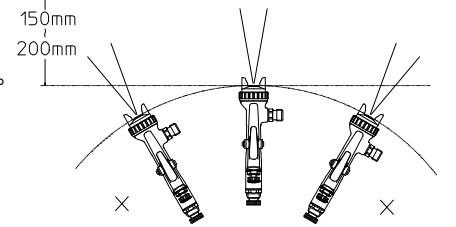
■ 調節方法

作業 1 吹付空気圧力は接着剤の粘度、性質により異なりますが、概略 0.20～0.35MPa の範囲に設定します。

圧力は別売りの手元圧力計によるガン手元での管理を推奨します。

作業 2 接着剤の液温は、接着剤の性質、作業条件により異なりますが、20℃～25℃程度が適当です。
(ゴム系接着剤の場合、液温が低いと吹付不良を起こす可能性があります。)

作業 3 吹付距離は 150～200mm の範囲でできるだけ近づけて塗布してください。



■ 保証と修理サービス

・保証期間は、お買いあげの日から6ヶ月です。

・万一、故障の場合は、お買いあげの販売店又は当社支店・営業所・サービス会社にご連絡ください。

保証期間中は、無償修理いたします。

・次の場合は保証期間内でもお客様のご負担(有償)になります。

- ・取扱説明書の注意事項を守られなかったことによる故障および損傷
- ・お客様の取扱上の不注意による故障および損傷
- ・消耗品の交換・修理
- ・天災、地震、火災、地震、水害、塩害、落雷、公害などによる故障および損傷
- ・純正部品以外の部品が使用されている場合
- ・指定の修理店以外による修理がなされている場合

・保証は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan


【免責事項】

本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次的、派生的または間接的な損害に対する補償はいたしかねますのでご了承をお願い申し上げます。


【お問い合わせ先】

・電話でのお問い合わせ

スプレーガン、静電塗装機、塗料供給装置、液圧機器、塗装ブース、自動塗装装置、塗装プラント、塗装ロボット、環境装置に関するお問い合わせ

 **0800-100-1926**

その他、上記以外に関するお問い合わせ

 **0120-917-144**

<受付時間: 9:00～12:00/13:00～17:00 但し、土日・祝日・弊社指定休日を除く>

・メールでのお問い合わせ

<http://www.anest-iwata.co.jp>

各種お問い合わせ先は変更する場合がございますので、最新のお問い合わせ先につきましては当社ホームページをご覧ください。

アネスト岩田株式会社

〒223-8501 横浜市港北区新吉田町 3176

ホームページ <http://www.anest-iwata.co.jp>

取説 No. T1013-00
コード No. COG1-H-M1

INSTRUCTION MANUAL

Spray Gun for Adhesive

COG1-H□□

Important

This manual contains **IMPORTANT WARNINGS** and **INSTRUCTIONS**. Equipment in this manual is exclusively for painting purposes. Do not use for other purposes. The operator shall be fully conversant with the requirements stated in this instruction manual including important warnings, cautions and operation and correct handling. Read and understand the instruction manual, before use and retain for reference.

Be sure to observe warnings and cautions in this instruction manual. If not, it can cause paint ejection and serious bodily injury by drawing organic solvent. Be sure to observe following marked items which are especially important.	
WARNING	Indicates a potentially hazardous situation which, if not avoided, may result in serious injury or loss of life.
CAUTION	Indicates a potentially hazardous situation which, if not avoided, may result in minor or moderate injury or property damage.
Important	Indicates notes which we ask you to observe. The safety precautions in this instruction manual are the minimum necessary conditions. Follow national and local regulations regarding fire prevention, electricity and safety as well as your own company regulations.

Symbol Marking on the Spray Gun:											
This ANEST IWATA spray gun complies with 2014/34/EU Directive relating to equipment and protective systems intended for use in explosive potentially atmospheres.			II	2	G	Ex h	IIB	T6	Gb	X	T ^{Amb} +5°C~+40°C
	Complies with European Directive	Specific Marking for Explosion Protective	Group II (Surface)	Category (Zone 1&2)	Type of Atmosphere (GAS)	Ignition Protection (not applied)	Explosion Group (Ethylene)	Temperature Class (≤85°C)	Explosion Protection level (EPL)	Additional conditions: Any static Electricity should be discharged and needs to be diverted to the ground via a conductive air hose not included.	Ambient Temperature

Important specifications

Max. Pressure	0.70MPa / 7.0bar / 100psi
Noise level	79dB(A)
Spray condition	Recommended
Measuring point	1m backwards from spray gun, 1.6m height
Max. temperature	Atmosphere: 5°C~40°C (41°F~104°F) ; Air and Fluid: 5°C~43°C (41°F~109°F)

Nozzle needle assy combination

Fluid nozzle		Fluid needle
Orifice Φ mm (in)	Mark	Mark
Φ 0.8 (0.031)	COG1 / 08	08 WIDER1
Φ 1.2 (0.047)	COG1 / 12	13 WIDER1
Φ 1.8 (0.071)	COG1 / 18	COG1 H18

Important Never connect pressure feeding paint except pressure feed type spray gun.

Main specifications

Model	Type of feed	Nozzle orifice Φ mm (in)	Air cap assy Mark	Recommended condition		Air consumption l/min (cfm)	*2 Pattern width mm (in)	Air & fluid connection	Mass g (lbs.)
				*1 Atomizing air pressure MPa (bar / PSI)	*2 Adhesive output ml/min				
COG1-H08	Pressure	0.8 (0.031)	COG1	0.29 (3.0 / 43)	70	395 (13.4)	150 (5.9)	Air G1/4 (NPS1/4) Fluid G3/8 (NPS3/8)	310 (0.68)
COG1-H12		1.2 (0.047)			90		170 (6.7)		
COG1-H18		1.8 (0.071)			110		190 (7.5)		

*1. Atomizing air pressure means air pressure at spray gun inlet when trigger is pulled and air flows.

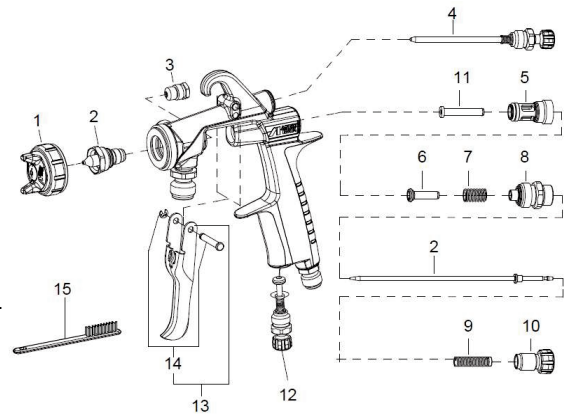
*2. This recommendation condition is when a chloroprene rubber-based solvent-based adhesive (viscosity : about 200 mPa·s) is used.

Parts list

No.	Description	Qty
1	Air cap assy	1
2	Nozzle needle assy	1
	• Fluid nozzle • Fluid needle	
3	Needle packing set	1
4	Pattern Adj. assy	1
5	Air valve seat assy	1
6	Air valve	1
7	Air valve spring	1
8	Fluid Adj. guide assy	1

No.	Description	Qty
9	Fluid needle spring assy	1
10	Fluid Adj. knob	1
11	Air valve shaft	1
12	Air Adj. assy	1
13	Trigger assy	1
14	Trigger stud assy	1
15	Brush	1

accessories



◆ Marked parts are wearable parts.

◎ When ordering parts, specify spray gun's model, part name with ref. No. and marked No. of air cap assy, fluid nozzle and fluid needle.

◎ When replacing fluid nozzle or/and fluid needle, please replace both fluid nozzle and fluid needle assy together.

◎ When receiving the spray gun, make sure that it has not been damaged during transport or storage and also check that all the above contents are inside the box.

Safety precautions

⚠ WARNING

Fire and explosion

- Spark and open flames are strictly prohibited.**
Adhesives can be highly flammable and can cause fire.
Avoid any ignition sources such as smoking, open flames, electrical goods, etc.
- Never use the following HALOGENATED HYDROCARBON SOLVENTS**
which can cause cracks or dissolution on spray gun body (aluminum) by chemical reaction.
unsuitable solvents : methyl chloride, dichloromethane, 1,2-dichloroethane, carbon tetrachloride, trichloroethylene, 1,1,1-trichloroethane
(Be sure that all fluids and solvents are compatible with spray gun parts. We are ready to supply a material list used in the product)
- Securely ground spray gun by using air hose with built-in ground wire.**
Ground wire should have less than 1MΩ resistant. Periodically check the ground for continuity.
Insufficient grounding can cause fire or explosion due to static electric sparking.



Improper use of equipment

- Never point spray gun toward people or animal.**
If done, it can cause inflammation of eyes and skin or bodily injury.
- Never exceed maximum operating pressure or temperature.**
- Be sure to release air and fluid pressures before cleaning, disassembling or servicing.**
If not, remaining pressure can cause bodily injury or property damage.
To release pressure, first shut off the supply of compressed air and fluid to the spray gun.
Then squeeze trigger, while the spray is pointed in a safe direction.
- Tip of fluid needle and tip of fluid nozzle has a sharp point.**
Avoid touching the tip of the fluid needle or fluid nozzle during maintenance to prevent injury.



Protection of human body

- Use only in a well-ventilated area (such as in a spray booth).**
If not, poor ventilation can cause organic solvent poisoning and fire hazard.
- Always wear protective gear (safety glasses, mask, gloves).**
If not, adhesive, solvents, etc., can cause irritation of eyes and skin.
If you feel something wrong with eyes or skin, immediately see a doctor.
- Wear earplugs if necessary.**
Noise level can exceed 80dB(A), depending on operating conditions and painting site
- If operators pull the trigger many times during use, it may cause carpal tunnel syndrome.**
Be sure to take a rest if you feel tired.



Other precautions

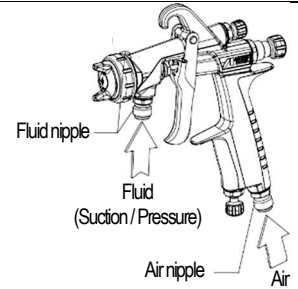
- Never alter this spray gun.**
If done, it can cause insufficient performance and failure.
- Only enter the working areas of other equipment (robots, reciprocators, etc.) after machines have safely been shut down.**
If not, contact with them can cause injury.
- Never spray foods or chemicals through this spray gun.**
If done, it can cause accident by corrosion of fluid passages or adversely affect health by mixed foreign matter.
- If something goes wrong, immediately stop operation and find the cause. Do not use again until you have solved the problem.**

How to connect

CAUTION

- Use clean air filtered through air dryer and air filter. If not, dirty air can cause painting failure.
- Before using the spray gun for the first time, clean fluid passages with thinner to remove rust preventive oil. If not cleaned, the rust preventive oil can cause paint failure, such as fish eyes.
- Firmly connect hose or cup to spray gun. If not, disconnection of hose or drop of cup can cause bodily injury.

- Step1. Connect an air hose to air nipple tightly.
- Step2. Connect a fluid hose or a container to fluid nipple tightly.
- Step3. Flush the spray gun fluid passage with a compatible solvent.
- Step4. Pour adhesive into container, test spray and adjust fluid output as well as pattern width.



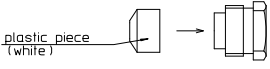
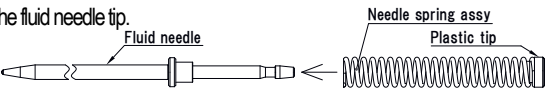
Maintenance and inspection

WARNING

- First release air and pressure fully according to item No. 3 of "Improper use of equipment" of WARNING on page 2.
- Only an experienced person who is fully knowledgeable of the equipment should perform maintenance and inspection.
- Use neutral cleaner: pH value shall be 6 to 8, otherwise could cause corrosion.

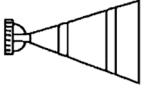





CAUTION

- Only use genuine ANEST IWATA parts for any maintenance or repairs.

Step-by-step procedure	Important
1. Pour remaining adhesive to another container. Clean fluid passages and air cap Assy. Spray a small amount of thinner into fluid passages to clean them.	1. Incomplete cleaning can result in poor spray pattern and contaminated adhesive. It is especially important clean the gun fully and promptly after using two-component adhesive.
2. Clean each section with brush soaked with thinner and wipe out with waste cloth.	2. Soaking whole spray gun in solvent may cause spray gun malfunction. Also soaking air cap Assy. itself for extended period may cause a defective spray pattern. When cleaning, never scratch the air cap Assy., fluid nozzle, or fluid needle. Avoid touching or damaging the tip of the fluid nozzle or needle.
3. Before disassembly, fully clean fluid passages. Remove fluid nozzle, using a ring spanner, box wrench or optional accessory spanner (code 93538601)	3. During disassembly, avoid scratching the needle seating surface. Either first remove the fluid needle or hold the trigger back while removing the fluid nozzle, to protect the seating surface.
4. If you need to adjust fluid needle packing set, first tighten it by hand (with fluid needle in place). Then tighten it further about 1/6 turn (60-degree) by spanner. When you remove needle packing set, do not leave the plastic tip of the packing in the spray gun body. 	4. If you tighten the fluid needle packing set too much, fluid needle will not move smoothly, resulting in adhesive leakage from tip of the fluid nozzle. Try to adjust it carefully while pulling the trigger and confirming smooth movement of the fluid needle. If you tighten it too much, first fully loosen it and then retighten again carefully.
5. To assemble the air valve, first assemble the air valve, air valve spring, and fluid adj. guide Assy. together. Next, insert fluid needle into fluid adj. guide Assy., then fit it to spray gun body and screw fluid adj. guide Assy. in.	5. If you try to fit air valve spring and air valve to the spray gun body without the fluid needle, the air valve may not be fitted correctly and the packing inside fluid adj. guide Assy. can be damaged.
6. Before assembling the pattern adj. Assy. or air adj. Assy. back on to the gun body, fully turn the adjustment knobs counterclockwise to open. Once in the gun body the pattern adj. knob and air adj. knob can be tightened.	6. If pattern adj. knob or air adj. knob is not fully opened when tightening into gun body, the tip of it can contact and damage the seating surface.
7. When you assemble the needle spring on the fluid needle, the plastic tip should be on the opposite side as the fluid needle tip. 	7. If plastic tip is on the wrong side, it may not operate normally. Incorrect installation of the needle spring may cause a heavy trigger pull.

Where to inspect	Parts replacement standard
1. Each hole passage of air cap Assy and fluid nozzle	Replace if it is crushed or deformed.
2. Packing and O ring	Replace if it is deformed or worn out.
3. Leakage from seating surface between fluid nozzle and fluid needle	Replace them if leakage does not stop after fully cleaning the fluid nozzle and needle. If you replace the fluid nozzle or fluid needle only, ensure they fully match and confirm that there is no leakage.

■ Troubleshooting

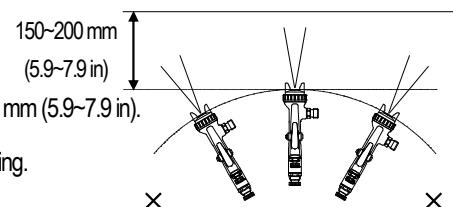
Spray Pattern	Problems	Remedies
 Fluttering	1. Air enters between fluid nozzle and tapered seat of spray gun body. 2. Air is drawn from fluid needle packing set. 3. Air enters at fluid container fitting nut or fluid hose joint.	1. Remove fluid nozzle to clean seat. If it is damaged, replace nozzle. 2. Tighten fluid needle packing. 3. Fully tighten joint section.
 Crescent	1. Adhesive buildup on air cap assy. partially clogs horn holes. Air pressure from both horns differs.	1. Remove obstructions from horn holes with attached brush. But do not use metal objects to clean horn holes.
 Inclined	1. Adhesive buildup or damage on fluid nozzle circumference and air cap assy. center. 2. Fluid nozzle is not properly fitted.	1. Remove obstructions. Replace if damaged. 2. Remove fluid nozzle and clean seat section.
 Split	1. Liquid temperature of adhesive is low (especially caution in winter). 2. The adhesive is oxidized. 3. Fluid output too high. 4. Pattern air pressure is too high.	1. Add paint to increase viscosity. 2. Turn fluid adj. knob clockwise to reduce fluid output. 3. Turn pattern adj. assy. clockwise to reduce pattern air pressure.
 Heavy Center	1. Liquid temperature of adhesive is low (especially caution in winter). 2. The adhesive is oxidized. 3. Fluid output is too low.	1. Add thinner to reduce viscosity. 2. Turn fluid adj. knob counter-clockwise to increase fluid output.
 Spit	1. Adhesive buildup on fluid nozzle circumference and air cap assy. center. 2. Fluid nozzle and fluid needle are not seated properly. 3. The first-stage travel of trigger (when only air discharges) decreases. 4. Paint buildup inside air cap assy.	1. Clean the nozzle and air cap regularly. 2. Clean or replace fluid nozzle and fluid needle assy.. 3. Replace fluid nozzle and fluid needle assy. 4. Clean air cap assy.

R1: retighten R2: adjust R3: clean R4: replace parts

Problem	Where it occurred	Parts to be checked	Cause	Remedy			
				R1	R2	R3	R4
Adhesive leaks	Fluid nozzle	Fluid nozzle ~ Fluid needle	Dirt, damage, wear on seat			○	○
			Loose fluid needle adj. knob		○		
			Wear on needle spring				○
	Needle packing set	Needle packing set ~ Fluid needle	Insufficient tightening	○			
			Dirt or damage on seat			○	○
			Fluid needle does not return due to packing set too tight		○		○
Needle packing set	Needle packing set ~ Fluid needle	Fluid needle does not return due to paint buildup on fluid needle		○	○		
		Wear	○			○	
Adhesive does not come out	Tip of spray gun	Fluid adj. knob	Insufficient opening		○		
		Tip hole of fluid nozzle	Clogged			○	
		Needle packing set ~ Fluid needle	Clogged			○	○
		Insufficient tightening		○			
Air leaks (from tip of air cap assy)	Air valve & Air valve seat assy	Air valve	Dirt or damage on seat			○	○
		Air valve seat assy	Dirt or damage on seat			○	○
		Wear on air valve spring				○	

■ How to operate

- Suggested air pressure is 2.0 to 3.5 bar (29 to 50 PSI).
- Recommended adhesive viscosity differs according to adhesive property and painting conditions.
- Keep fluid output as small as possible to the extent that the job will not be hindered.
It will lead to better finishing with fine atomization.
- Set the spray distance from the spray gun to the work piece as near as possible within the range of 150~200 mm (5.9~7.9 in).
- The spray gun should be held so that it is perpendicular to the surface of the work piece at all times.
Then, the spray gun should move in a straight and horizontal line. Arcing the spray gun causes uneven painting.



ANEST IWATA Corporation

3176, Shinyoshida-cho, Kohoku-ku, Yokohama, 223-8501, Japan

Manual No. T1013-00
Code No. COG1-HM1